

虹の会 だより



虹の会

第37号

2014. 12 19 発行

2014年も残すところあと少しとなりました。

皆様にとってどんな一年になったでしょうか？今年度の虹の会は、

皆様より“もっと皆とお話しがしたい”と、言うご要望により

自由に交流をもって頂くというスタイルで過ごしてきました。

天神界隈に食事に出かけ、近況報告をする時間が持てたことで、皆様から

「ストレス発散できた」「皆さんから元気をもらった」など、嬉しい感想を

聴ける事が出来、私たちもこのスタイルで行えて良かったと、感じています。

又、家族の想いを連載することが出来た事も皆様の気持ちを知る事につながり

とても大切なものになりました。協力して頂いた皆様ありがとうございました。

来年も皆様の笑顔にお会い出来る事を楽しみにしています。



【 第49回 虹の会のつどいから 】

1 【の会は、あったかホームコンサートを見に行きました。

松下祥子さんの“あなたの海で”の紹介もあり、有意義な一日になったと思います。

それぞれに色々な状況があると思いますが、また皆で近況報告をしていきたいと思っています。



若年認知症全国連絡協議会役員会&施設見学に参加して

中島 七海

「第6回 全国若年認知症フォーラムin滋賀」準備

11月22日(土)滋賀県大津市へ、1月に開催される「第6回 全国若年認知症フォーラムin滋賀」～支えること、支えられることの垣根をなくす～を開催するために役員会がありました。

開催地の藤本クリニックの藤本先生より進捗状況の報告、会場の確認など。

藤本先生は若年認知症の方が通えるデイケアの必要性を感じ、精神科デイケアを開設。

その後、介護保険を使うのをためらっている若年・軽度認知症の方が通う「仕事の場」として「もの忘れカフェ」を開設。3年目です。

企業の協力で「仕事の場」は3年目を迎え、徐々に働く場が滋賀県内に広がっています。

フォーラムが開催される会場は琵琶湖のすぐそばのピアザ淡海 ピアザホール。400名収容ですすでに申し込みが多数ありとのことで、若年認知症に関心があることを感じました。

また、フォーラム当日、厚生労働省より講演をして頂く室長補佐の翁川様は若年認知症専門官になられたそうです。その情報に、厚生労働省に陳情をされてきた、ゆきぐに大和病院 院長、宮永先生、若年認知症サポートセンターの干場様達が私たちの声を根気よく届けた結果だと嬉しくなりました。

今回は滋賀県知事も来賓挨拶されるようになり、開催する滋賀県の仲間の努力は相当なものです。

若年認知症サポートセンター「絆や」の活動

翌日、奈良県へ 若年認知症サポートセンター「絆や」の活動を見学させて頂きました。

若年認知症は、働き盛りの世代に起り、本人だけでなく、家族の生活に大きな影響を与えます。

病気のために仕事ができず、困窮の危機に陥ったり、子供への心理的影響が大きかったりします。

ここでも、介護保険を使わずに若年認知症の方の働く場所として国土交通省などと提携して活動しています。

古民家を拠点にした働く場は、昔、奈良と大阪を最短距離で結んだ追分本陣。参勤交代で大名の宿泊施設として使われ、現在は奈良市指定文化財として保存されている村井家を訪ねました。この場所は少し前、梅の花が咲くころは多くの人が立ち寄りにぎわっていました。

しかし、高齢化に伴い畑の管理ができず伐採、空き地となり自然と活気がない町に変化していきました。1万坪以上の土地を活用しようと立ち上がったのが「絆や」でした。

今、その空き地には3年後の開業をめざして「梅の花」歴史ある「大和橘」の栽培をするために開墾。農業体験などが出来るように水耕田、蛍が見られるような川の整備など。この近隣に住んでいる、住民と話し合いながら進めています。

働くと言っても1日2時間程度、お給料も月1000円。それでも働ける場所があり、家族と仲間と一緒に過ごせることが 生きがいになっています。

3年後、地域の人と認知症の人が力を合わせ、地域の活性化を図り、認知症になってもできることはまだまだあるということを深めていくのが夢だそうです。

今は苗木の梅と橘が日当たりの良い場所に丁寧に育てられていました。

このプロジェクトに力を注いでいる代表の若野さんは、初めて出会った若年認知症の男性の働きたい想いを叶えられなかったのが原動力だそうです。

自然体で地域や行政を巻き込んでいくパワーに圧倒されました。

広大なこの土地に梅と、橘の花が咲くころにもう一度行ってみたいと思をはせ、遠くに見える大和の赤く染った山々と、青く澄んだ空を眺めすがすがしい気持ちで帰路につきました。



《ごあいさつ》

若年認知症と関わるようになり全国の仲間と出会い、必ず出る問題が子供のことで。

乳幼児から成人した子供まで、それぞれ置かれた環境の違いはあっても精神的な

苦痛と経済的な問題に直面し学業などにも影響があります。

若年認知症についての理解はまだまだです。まして子供たちへの支援は手つかずの状況です。

私自身、今までどんなことができたのか、認知症についてもまだまだ勉強不足です。

どう向き合ってよいのか戸惑いながら、子供たちに接しています。わからないことがいっぱい

です。子供たちが抱える問題に向き合うことで若年認知症が高齢の認知症と大きな違いがあることを知る、大きな手掛かりになるのではないかと思います。

子供たちが語るのが一番良いのかもかもしれませんが毎日途方に暮れています。介護する私たちが代弁者として語り、伝えて行くことも大切な支援ではないかと思います。

そのことは11月に訪問した滋賀県、奈良県で教えられたことでした。

活動の内容はそれぞれですが、これからの課題として取り組んでいこうと考えています。

オアシス虹の会の皆様、サポーターの皆様、全国の仲間と、共に。

来年もよろしくお願いいたします。



次回の虹の会は2015年1月11日（日）です。

新年を迎え、また皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

1月11日は新年会を予定していますので、必ず出欠の連絡をお願いします。

今年も一年間、有難うございました。 虹の会サポーター 一同

